

産業建設常任委員会意見交換会報告

去る11月18日開催の白山市体育協会との意見交換会について、その概要を報告します。

当日は、白山市体育協会の黒島会長を初め、副会長、理事の方等、合わせて13名の出席をいただきました。

今回は、「白山市でのスポーツ観光の可能性」と「学校運動部活動へのかかわりについて」の2つをテーマとして、意見交換を行いました。その主な内容と意見について述べさせていただきます。

1つ目のテーマである「白山市でのスポーツ観光の可能性」についてです。

初めにスポーツと観光を結び付ける手段として、白山市における全国大会や合宿の誘致活動、プロスポーツとの連携の現状をお聞きしました。

国際的な合宿誘致の事例として、市スポーツ課と体育協会、トランポリン協会が連携し、昨年はワールドカップ大会、そして今年の世界選手権大会でポルトガルトランポリンチームの事

前合宿が行われました。

その中で白山市の子供たちと交流する機会をつくったところ、子供たちが見てくれること、すごいと言ってくれることで、選手のほうも大変喜んでくれたそうです。

体育協会の方からは、地域で支えられているという雰囲気をつくっていかないと本当にいい誘致にはならないという印象を持った。試合や練習を見に行くことが選手への大きなサポートになるとの御意見がありました。

委員からは、選手もたくさん観客がいれば力が入るし、一生懸命になるというのはよくわかるので、体育協会や各競技団体が把握している大会等の開催予定を情報発信するプラットフォームなどを考え、もっと市民に対して周知する必要があるのではないかとの意見がありました。

国内の合宿については、特に関西方面からの合宿に市内体育施設を利用させて欲しいとの相談を旅行会社や宿泊施設から受けているそうです。

体育協会からは、合宿を誘致していくのであ

れば、これを機会に市のスポーツ課・観光課と体育協会、旅行会社等との意見交換会の場をもうけてはどうかとの提案がありました。

プロスポーツとの連携については、市はフットサルF2リーグに所属しているヴィンセドール白山を施設使用の面でバックアップしており、選手には市のPRや保育園での巡回指導など御協力いただいているそうです。

体育協会からは、市民への認知不足を改善するため、松任総合運動公園体育館ホールにヴィンセドール白山の展示ブースを設けたり、市独自でプロスポーツ夢教室を開催したりしてはどうかとの提案がありました。

委員からは、市に協力してもらっているのはすごくいいことなので、プロスポーツへの支援の輪が全市的に広げられるような取り組みを期待するとの意見がありました。

次に、2つ目のテーマ「学校運動部活動へのかかわりについて」であります。

このことについては、学校の部活動が教職員の多忙化につながっていることもあり、体育協

会から学校へ指導者を派遣することができないか、またそうする場合の課題について委員から質問させていただきました。

体育協会からは、仕事のかたわら夕方から部活動の指導を求めることは難しいこと、生徒がけがをしたときに責任の所在が問題となること、指導員の派遣に係る保険料等の費用が負担となることが課題であるとの御意見がありました。

委員からは、学校の部活動を地域で支えるという大きな流れの中で、体育協会の役割は大きい。市と連携して、地域で部活動をみるような形になればいいとの意見がありました。

以上、主な意見を述べましたが、体育協会によるスポーツの普及や市民の体力向上、健康増進の活動に対し、ますます期待が高まっており、その活動を支えるために市の担当課の垣根を超えて協議し、連携していく必要性を感じたところであります。

以上で意見交換会の報告を終わります。